2021 年 3 月 4 日（木）

① グーグル

⇒ 米グーグルがインターネット利用者の閲覧履歴を追跡する技術の使用制限を強化する

⇒ 広告会社などが一人ひとりの情報を使って広告を配信する技術を排除する方針だ

⇒ 米アップルもプライバシー保護を強化しており、配信対象を絞り込むターゲティング技術を高度にすることで成長してきたネット広告の転機となりそうだ

⇒ グーグル幹部が 3 日、公式ブログで「ウェブサイトを横断して個人を追跡する代替技術を開発したり、こうした技術を当社製品で使用したりしない」と表明した

⇒ ターゲティング広告は利用企業の支持を得てきたが、技術が高度になり消費者の間で「行動を盗み見られているようだ」などといった不満が高まっていた

⇒ 民主党政権の厳しい追求をかわそうとする動きですね

⇒ 利益率の低下が予想されます

② ソフトバンクグループ出資のグリーンシル 事業譲渡へ破綻準備

⇒ グリーンシルは代金のやり取りを担う「サプライチェーンファイナンス（SCF）」を手がける

⇒ 企業は代金の受け取りは早く、支払いは遅くできるメリットがあり、グリーンシルは様々な企業の請求書（債権）をまとめて流動化して、運用対象としてきた

⇒ 世界的に超低金利のなか、相対的に高い利回りが期待できると投資家の人気を集め、19 年の融資額は 1430 億ドル（約 15 兆円）まで成長した

⇒ 企業間金融の効率を高めるフィンテックとしてソフトバンクグループ（SBG）も出資するが、関連した証券化商品のファンドの凍結によって経営危機に陥った

⇒ SBG は 10 兆円ファンド「ソフトバンク・ビジョン・ファンド」を通じ、19 年に 2 回、合わせて約 14 億 6 千万ドルをグリーンシルに出資している

⇒ 事態が急展開したのはクレディ・スイス・グループ傘下の運用会社が 1 日、グリーンシルと提携して運用する機関投資家向けファンドを凍結したのがきっかけだった

⇒ 2 日にはスイス運用大手の GAM インベストメンツも、グリーンシルと展開していた SCF ファンドを凍結したと発表した。直近で残高は 8 億 4200 万ドルある

⇒ SCF はこの 5 年程度で市場が広がった。商取引の債権が対象の金融は、銀行を代替する形でファンドなどが「影の銀行（シャドーバンキング）」として担ってきた

⇒ グリーンシルは「運用の中身が見えにくく（投資商品として）やや雑な印象があった」（英投資ファンド関係者）との声も聞かれる

⇒ 実情が見えにくい金融商品の増加はリーマン危機前にもみられた現象だ

⇒ リーマンショックの前兆にあたる 2007 年 7 月と酷似しています

⇒ 15 兆円は大きいです

⇒ 歴史は繰り返すのでしょうか？

⇒ SBGの株価にも要注目です

③ インフレ　スイスUBS会長

⇒ スイス金融大手 UBS は 1～5 月、インフレ率が米国で 3%超、ユーロ圏で 2%に向かって上昇すると予想する
⇒ 資金を貯蓄したり国債を保有したりする者が健全性に疑念を持ち、別資産に切り替えれば、国の通貨が下落し消費者物価の上昇にもつながる。信頼喪失によるインフレは急に出現することがある
⇒ インフレを抑制するためには中銀は金利を引き上げなければならず、債務負担の重い政府や企業、家計の資金繰りに問題が生じるだろう
⇒ インフレ率は国際的な相関性が高いとされており、ドル圏のインフレは世界的な物価上昇を加速させる可能性があるだろう
⇒ インフレの高まりのリスクを過小評価する向きが多すぎる
⇒ グリーンスパン元 FRB 議長は 14 年、インフレ率がいずれ上昇せざるを得ないとみて、FRB のバランスシートが発火点になりかねないとした
⇒ コロナ危機は、発火点に火をつける落雷になるかもしれない
⇒ まったくその通りだと思います
⇒ 世界全体の債券利回り上昇＆価格下落は、間違いなくインフレを予知していると強く感じます

④ 米 10 年国債 ＆ NASDAQ

⇒ 米 10 年国債利回りは 1.47%と再度上昇
⇒ NASDAQはグーグルの件もあり▲2.7%と急落
⇒ テスラも▲4.84%と完全に終わった感があります
⇒ いよいよ逆回転が本格的にスタートしそうです

【米 10 年国債利回り:2 年】

【NASDAQ:2 年】

【テスラ:2 年】

2021/1/25
900.40
2020/2/3
193.80
35.40
2019/6/3
70.10
2020/3/16
800
600
400
200
2019/4
2019/7
2019/10
2020/1
2020/4
2020/7
2020/10
2021/1